

【戦評シート】

2011年 11月 27日 (日)	協会名： 石川バスケットボール協会				
場 所： 北陸電力体育館	記入者：				
チームA 石川	85				
{ <table style="margin: auto; border: none;"> <tr><td style="padding: 0 10px;">27-8</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">15-21</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">14-21</td></tr> <tr><td style="padding: 0 10px;">29-9</td></tr> </table> }		27-8	15-21	14-21	29-9
27-8					
15-21					
14-21					
29-9					
59	チームB 東京				

スターター	チームA： #2 綿貫 #4 ウスマン #6 山田 #15 宮村 #16 北村 チームB： #5 坂上 #13 深尾 #17 松藤 #25 平野 #32 マーク
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 () チームB： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()

第1クォーター

序盤は互いに静かな立ち上がりだったが、石川#2綿貫のアシストからの#4ウスマンのダンクを皮切りに石川が猛攻を仕掛ける。中でも#24高村の3本の3ポイントシュートは圧巻だった。石川は堅いディフェンスからの速攻で次々と得点する。ゴール下でも主導権を握った石川が19点リードで第1クォーターを終える。

第2クォーター

序盤から東京が激しいディフェンスやリバウンドで主導権を握る。オフェンスではパス回しからうまくフリーを作りシュートを決める。#5坂上の2本の3ポイントシュートも大きかった。これに対し、石川は選手交代で流れを変える。#13八坂のジャンプシュートや、#2綿貫の1対1やアシストで再び差を広げる。一時は一桁差までつめられた石川だが、13点リードで前半を終える。

第3クォーター

東京は第2クォーターに引き続き激しいディフェンスを仕掛ける。東京は#13深尾の活躍などで一気に差をつめる。石川は#6山田のジャンプシュートなどで応戦し、中盤は一進一退の攻防が繰り広げられる。しかし、終盤に東京の速攻が決まりだし、差をつめられる。東京はフリースローが決めきれず、追いつくことができない。結局石川が6点リードで第3クォーターを終える。

第4クォーター

石川は#15宮村の連続得点で流れをつかむ。東京はシュートが決めきれず、差が開いていく。石川は激しいディフェンスからの速攻で次々と得点を重ねていく。また、ゴール下でも#15宮村などが強さを見せ、力の差を見せつける。最後まで走り切った石川が26点差で勝利する。

試合総括

試合序盤と終盤では高いオフェンス力を発揮した石川だが、中盤は相手の激しいディフェンスに押され、点差をつめられてしまった。速攻主体の石川に対し、うまくパスを回してディフェンスを翻弄した東京だったが、第1クォーターの点差が響き、最後まで追いつくことはできなかった。石川にとっては中盤の失速を克服することが今後の課題になるだろう。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。